

1

2

3

4

5

A

B

C

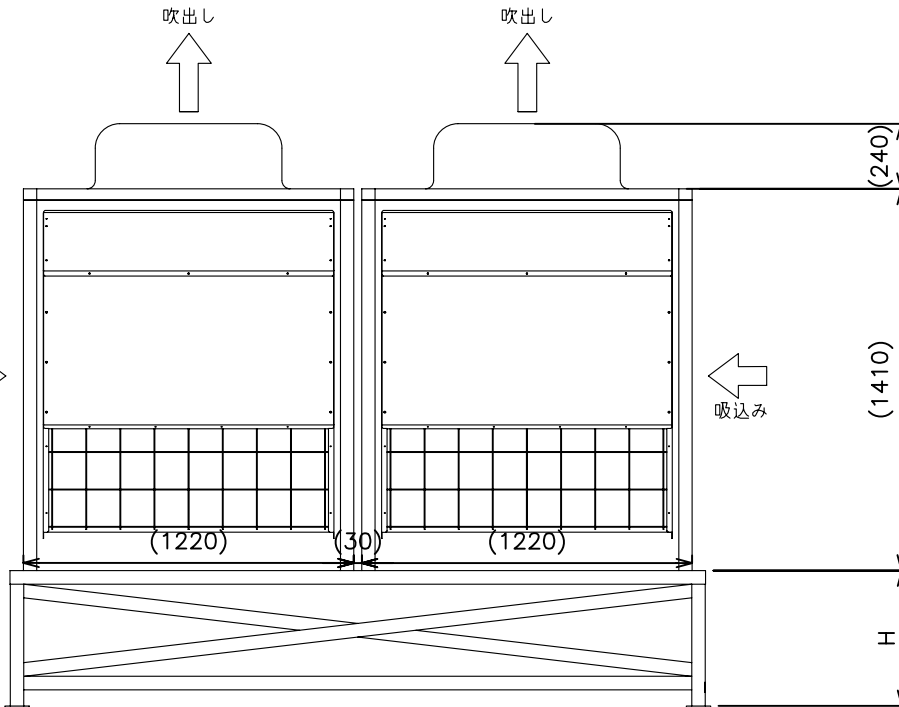
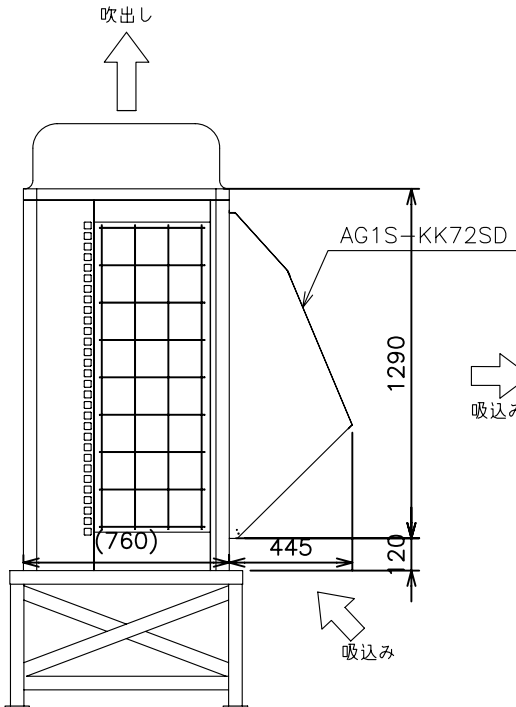
D

A

B

C

D



(240)
(1410)
H

C 室外ユニット形名	
PUHY-P960CM-E1	PURY-EP560SCM-G
PUHY-P1010CM-E1	PURY-EP630SCM-G
PURY-P850SCM-E(1)	PURY-EP690SCM-G
PURY-P900SCM-E(1)	PURY-EP730SCM-G
PUHY-P960SCM-E2	PURY-P850SCM-G
PUHY-P1010SCM-E2	PURY-P900SCM-G
PURY-EP560SCM-E	PURY-RP450SCM-G
PURY-EP630SCM-E	PURY-RP500SCM-G
PURY-EP690SCM-E	PURY-RP560SCM-G
PURY-EP730SCM-E	PURY-RP630SCM-G
PUHY-EP630SCM-E3	PURY-RP690SCM-G
PURY-RP450SCM-E3	PURY-RP730SCM-G
PURY-RP500SCM-E3	PURY-RP800SCM-G
PURY-RP560SCM-E3	PURY-RP850SCM-G
PURY-RP630SCM-E3	
PURY-RP690SCM-E3	
PURY-RP730SCM-E3	
PURY-RP800SCM-E3	
PURY-RP850SCM-E3	

- 注1.防雪架台の高さHは、予想される積雪量の2倍程度として下さい。又、架台はアングル鋼材等で組み立て、風雪の素通りする構造とし架台の幅はユニットの寸法より大きくならないよう決定して下さい。
(大きすぎると、その上に積雪します)
- 2.ユニット設置時、季節風が吹出口、吸込口の正面から当たらないように考慮して下さい。又、シュートサイクルにならないよう十分なスペースを確保して下さい。
- 3.屋根から雪が落ちる場所への設置はさけて下さい。又、雪下ろしは早めを実施して下さい。
- 4.本図を参考として、現地にて架台の製作、施工を実施して下さい。

形名	材質	表面色	重量	備考
AG1S-KK72SD(フード部のみ)	SUS304 t1.0	地金色	29.4kg	PAC-KK87SD(2台使用)と互換

改定CHANGE

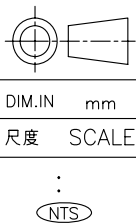
適用室外ユニット形名追加により改定
'09-11-14 岩村 梶村

A
適用室外ユニット形名追加により改定
'10-2-12 岩村 梶村

B
適用室外ユニット形名追加により改定
'11-9-1 郡司 梶村

C

出図先()
控 1



三菱電機システムサービス株式会社

作成日付
DATE '09-2-25
作成
DRAWN 加藤(智)
照査
CHECKED 岩村
設計
DESIGNED 加藤(智)

検認
APPROVED
梶村

TITLE
AG1S-KK72SD
防雪フード組込図

DWG.No.
X903703M00624

1

2

3

4

5